

小中連携だより第3号を配付後、6月8日(水)に「5年生学年集会」を6月16日(木)に「5年生保護者懇談会」を開催しましたので、その内容についてお知らせいたします。

《5年生 学年集会》

- 1 期 日 6月8日(水) 5校時
- 2 場 所 広田小体育館
- 3 出席者 5年児童 5年学級担任 校長 副校長 教頭 5年担任
- 4 概 要

① 校長からの29年度から中学校校舎で学習することについての説明

- ・27年度修了式での前校長からの話について。
- ・中学校施設に行っても小学生であることに変わりない。大事な子どもである。
学級担任は小学校の先生。担任の先生以外の先生も中学校へ行くこと。
- ・学校生活のこと
 - ・制服・学級担任制・学校行事への参加・運動場での遊び・乗り入れ授業等
- ・小学校での交流活動 クラブ活動・卒業式
- ・新しくできる校舎について

② 各学級に分かれての質問・意見交換

- ＜不安＞
- ・どうなるのか分からないから
 - ・小学校を離れることがさびしい
 - ・いじめとかないのだろうか
 - ・校舎の配置が分からなくて迷わないか
 - ・通学路が分からない
 - ・兄弟姉妹といっしょにいられない(来年小学校1年入学)
 - ・英語が分かるだろうか
 - ・中学校の流れにのっていけるだろうか
 - ・1年生のお世話を楽しみにしていた

- ＜質問＞
- ・登校班や集団下校、地区児童会はどうなるのか
 - ・ランドセルやシューズ、体操服はどうなるのか
 - ・給食はどうなるのか 中学生が弁当の時、小学生は？
 - ・校則(学校のきまり)はどうなるのか。髪型・服装他
 - ・部活動(や朝のマラソン)に参加できるのか
 - ・プール、体育館、その他の設備は使えるのか 小学生にあっているのか
 - ・中学生には、〇〇先輩と呼ばなくてはならないのか
 - ・昼休みは何分か。運動場で遊んでいいのか。
 - ・ぶくぶくタイム(フッ化物洗口)はあるのか
 - ・家庭訪問の日程は、中学校？それとも小学校？
 - ・運動会で係活動や応援団に参加できるのか

- ＜その他＞
- ・これまでは不安だったが、小学校と中学校は同じところがあると知って安心した。
 - ・わくわくする。楽しみだ。



子どもたちは集会に参加する前（ビフォー）と参加した後（アフター）では、気持ちのもちょうが変わったようです。始めは「不安・心配」という気持ちの方が大きかったようです。これらの不安のほとんどは、6年生が中学校へ進学する時、抱くものと同様です。校長の話を聞いたり、学級の中でその思いを出し合ったりしたことで前向きな気持ちに変わっています。学級担任も子どもたちの質問に答えられる範囲でいねいに答えていました。

しかし、不安がゼロになったわけではありません。できる限り、子どもたちの不安をなくすようにいねいに話をしていきたいと思います。上記の質問内容について、小中連携だよりでお知らせした内容については、子どもたちに説明をしています。これから検討していく内容については、今後小中の職員が顔を合わせて協議をしていきます。



＜＜5年生 保護者懇談会＞＞

- 1 期 日 6月16日（木）15：10～16：20
- 2 場 所 広田小体育館
- 3 出席者 5年生保護者95名
5年学級担任 校長 副校長 教頭 他
市教委より主幹2名・総務課より課長他2名
中学校より校長・副校長 小学校PTA会長
- 4 概 要 15：10～ 開会・出席者の紹介
校長挨拶
15：15～ 市教委からこれまでの経緯説明
校長より取組状況の説明
15：45～ 学級に分かれての意見交換
（進行はPTA学級役員・記録は担任）
「望ましい小中連携のあり方」についての意見交換
16：20～ 閉会

5 市教委からの経過報告

今日に至るまでの経過報告が市教委よりありましたが、詳細につきましては学校ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

6 出された質問

Q：小中連携とは何なのか。教室が足りなくなるから6年生を中学校の施設に行かせるとしか感じられないのだが・・・

A：小中連携6年間・3年間という短いスパンではなくて、9年間という長いスパンでどのような子どもを育てていくのかということをお互いの両校で認識をして、共通理解の下に指導をしていく。6年生の指導を中学校の職員もすることもできるようになる。子どもたちの情報を両校の職員が共有していくことになるので、中1ギャップ等の解消にもなる。

Q：京都の東山泉校（施設分離型小中一貫校）のように時間をかけて話し合いを重ねることが大事なのではないか？

A：小中連携，義務教育学校という動きがまだ東山泉校が始めた6年前は，全国的にもほとんど例がなく，分からない状況であった。その中で一つ一つ時間をかけて進められている。現在は，全国の中にも小中一貫校が相当数できたので，そのノウハウ等が蓄積されてきている。合わせて今回の件については，現在の状況が厳しいということで，少しでも早く広田小学校に残る子どもたちも6年生どちらにもよい状況を作ってあげたいという思いがあったし，地域の方にも保護者の方にもあったと思う。

Q：早い段階で教室が足りなくなるかもしれないと分かっていたらうに，どうしてこうなったのか？

A：平成24年度の通学区域審議会で「当分の間は分離新設を行わず現状の敷地で対応していくことが望ましい。ただし，急激な児童数の増加がある場合は，分離も含めて検討が必要である」と答申をいただいたので，当時の人口統計表を見ながら研究を進めていた。しかしながら，実際のところは施設設備の拡充等をしたが，それ以上に児童数が増えてしまい，このようになっている。

Q：子どもたちの心のケアとか小中連携をどのように進めていくのか。

A：市内中学校にはスクールカウンセラー，心の教室相談員を派遣している。心の変容については非常にデリケートな発達段階にあるので，小中の教職員を含めて一人一人をていねいによく見つめていく体制を組めるようにする。仮に入学後不安や動揺等がある場合，職員が子どもたちの言葉や表情から見出ししっかりと打合せをして，スクールカウンセラーや相談員と連携して健康な生活ができるようにしていく。

Q：小中連携の取組がどのようなメリットにつながるのかがよく見えないが。

A：6年生を迎えるにあたっては，中学生にもメリットを感じている。3学年で生活している中に年齢層を広げる6年生が入ってくことで，特に中3にとっては年長者としての目が見開き，年下の者の面倒をよくみるやわらかい感性や寛容さが育まれる。一方では，小学6年生にとっては物理的にリーダーとして活躍する時間がそがれるわけだが，そこは小中の教職員，市教委，保護者の皆様，地域の方々の声を寄せながら作り上げていく新たな目，力，生き方，感性，そういうものを育む機会にしていきたい。そういう志をもって中学校も様々な声を聞いていきながら，教育課程を編成していくことになる。6年生としての小学校教育課程の根幹となる部分はしっかりカウントしながら，遮断するわけではないので小中あけて子どもたちを育てていこうと思っている。

「望ましい小中連携のあり方」について懇談会で出された意見

- 登校班はどうなるのか。いつもと違う道になり危険。
- 本当は，6年生まで小学校校舎で過ごさせたかった。
- 小6のリーダーとして役割を果たす機会をなくすことが悲しい。
- 9年間で育てるといわれたが，この世代は実験台になっているのではないか。
- 悔しい気持ちはある（納得はしない）が，考え方を前向きにしないではいけない。
- 中学校に行くメリットをたくさん出してほしい。分かりやすく説明をしてほしい。
- デメリットが分からない。デメリットを改善するための方策を考えなくてはいけない。
- 前向きな子どものために親としては「安心していいよ。」と送り出したい。情報が少ない。

- 6年生になる前にこの学年でしか経験できないことをさせてほしい。
- 運動会は中学校とする？ やはり6年生として活躍するところを見たい。
- 運動会を2回するのは、授業時間の確保は大丈夫か。
- スクールカウンセラーは小学校は週に1回（水）だけ。常時配置してほしい。
- 楽しみにしている → グラウンドで思いっきり遊べない。
- 駐車場が中学校にはあるのがよい。
- 中学校のことを教えてほしい。
不安。生活の様子が知りたい。見えないところが心配（男女交際など）。
- 教師が目届かないところでの行動が心配
- 中学校を見学させてほしい（部活見学も含め）。
- 受け入れる中学校の先生方の構えを聞きたい。
- 環境に慣れさせるために中学生と交流の場を設けてほしい。
- 中学生の意見を聞いてほしい。中3の負担はどうなのだろうか？
- 中学校に入りにくい。（気の弱い子は特に）
- 教室が足りない → 小中一貫教育 後付のような気がする。
- 意見を公の場では言いにくい。全体の場では言いにくい。

率直なご意見ありがとうございました。ご意見の中で「中学校を見学させてほしい。」については、中学校の学校公開「道徳の授業公開」についての案内状を5年保護者に配付しましたところ、早速中学校の授業参観に足を運ばれた方もおられました。今後も連携ができそうなものについては検討させていただき、実施の方向で動きたいと思えます。

本懇談会に出席した全ての者が、「教育環境を整え、子どもたちのよりよい成長につなげたい。」と願っており、気持ちは同じです。全てのご意見を取り入れることは不可能ですが、その思いをしっかりと受け止めて、共通理解できるような接点を見出せるよう努力をしていきます。

<今後の予定>

6年生が広田中学校敷地内に通学することについての懇談会（小中合同）

日時 7月26日（火）19：00～20：30

場所 広田中学校

詳しくは、7月11日に配付しました案内でご確認ください。

ご意見やご質問、ご感想等は、お子様を通じて小学校、中学校へご提出願えれば幸いです。

記入欄が足りない場合は、連絡帳等に記入されてもかまいません。